

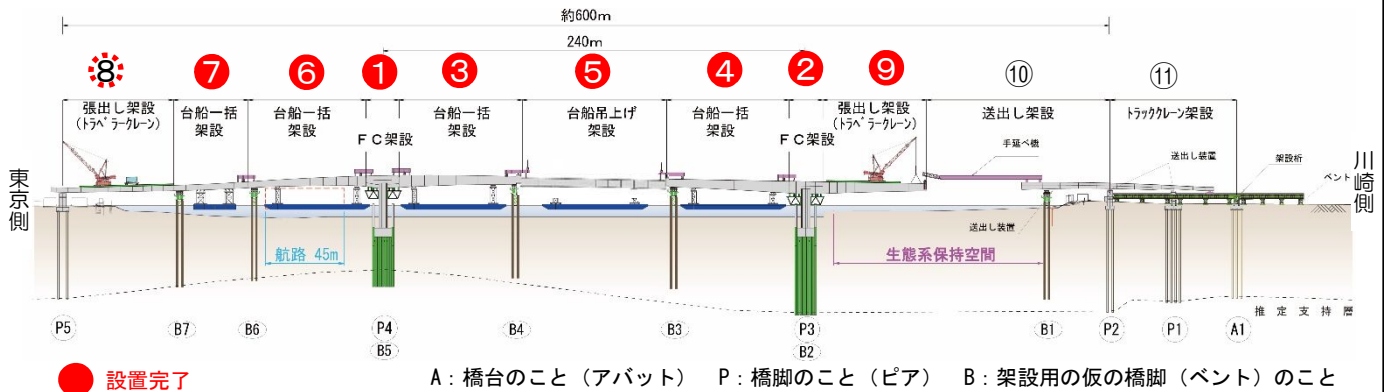


はね れん 羽田連絡道路だより

第13号

発行：2021年1月 発行者：川崎市建設緑政局広域道路整備室・五洋JV

多摩川を渡る橋桁約600mの架設が概ね完了 いよいよ、工事也大詰めに入ってきました！



東京側張出し架設⑧はP5橋脚に主桁が到達し、今後、側床版の架設を進めていきます。
 また、川崎側張出し架設⑨の完了に伴い、12月下旬から川崎側⑩の最後の送出し架設を開始し、1月末に張出し架設⑨の主桁と接続して、多摩川を渡る約600mの橋桁の架設が完了する予定です。これで川崎側の殿町と羽田空港が1本の橋桁で結ばれることとなります。
 今後、歩道・自転車道となる側床版の架設を進めるとともに、川崎側⑪の2径間鈹桁橋部、橋面整備、取付道路の整備を進めていきます。開通に向けて各所でいろいろな工事を行います。令和3年度内の一日も早い開通を目指して安全第一で工事を進めていきます。



羽田側⑧張出し架設完了全景



川崎側⑩送出し架設状況

【土木豆知識⑪】 橋梁の架設工法④ 送出し架設工法

(仮称) 羽田連絡道路の川崎側の橋桁架設は、先端に手延べ機を設置した主桁を組み立てながら、順次主桁を送り出す、送出し架設工法を採用しています。この工法は、一般的に桁下に道路、鉄道、河川等があり、桁下空間が使用できない場合に適用される工法です。羽田連絡道路では、川崎側の河川内に広がる生態系保持空間を保全するため、この工法を採用しています。川崎側の陸上部の施工ヤードで組み立てた主桁を、水平ジャッキ装置(1回のストロークは約1m)で受けて送出す作業を繰り返します。全長104mの主桁を1回目約47m、2回目約36m、3回目約66mの計約149m送り出し、トラベラーレンで河川上に張出し架設した主桁と接続します。

2020年12月17日から3回目の送出しを開始し、今月末に張出し架設部と締結して主桁の架設が完了する予定です。



図1 送出し架設工法イメージ図



図2 手延べ機と送出し主桁



写真1 使用する水平ジャッキ

新しい橋の名前を募集します

地図に載る名前を考えてみませんか？

川崎市殿町（キングスカイフロント）と羽田空港（羽田グローバルウイングズ）をつなぐ新しい橋の名前を募集します。

この橋は多摩川の河口から1番目、世界との玄関口である羽田空港の目の前にかかる橋であり、川崎市と東京都が共同で整備を進めています。この橋は、多摩川兩岸のエリアをつなぎ、このエリアの価値・魅力をさらに向上させ、国際競争力を高めます。このエリアの発展を支え、皆さまに愛される橋を目指しています。

どなたでも応募できますので、ぜひ、ご応募ください。

- ◇応募資格 どなたでも応募できます（1人1点までとします）。
- ◇名前の条件 橋の名前と込めた思いを記入ください。名前には「橋」または「ブリッジ」を入れて、川崎市殿町と羽田空港をつなぐ新しい橋にふさわしい名前を付けてください。
- ◇応募期間 令和3年1月15日（金）から、令和3年2月15日（月）まで
- ◇応募方法 川崎市ホームページの専用フォームから入力、郵送、FAX、持込み
- ◇選考方法 応募された各名前の応募数だけによらず、検討委員会により選定します。
- ◇問合せ先 川崎市建設緑政局広域道路整備室 電話044-200-0436
- ◇その他 詳細は市ホームページ（<https://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000123268.html>）をご確認ください。



川崎市ホームページ

年始のご挨拶

今年もよろしくお願いいたします

【発注者：川崎市建設緑政局広域道路整備室羽田連絡道路建設担当】

新年、あけましておめでとうございます。

昨年は令和元年東日本台風の影響による浚渫作業からスタートし、皆さまにはご心配をおかけいたしました。4月に無事、上部工架設工事を再開することができ、まもなく川崎側と東京側が繋がるところまで工事が進みました。いよいよ、多摩川の川岸から橋の全体像を見ることができるようになり、市職員も開通に向けて、胸を膨らませています。

また、コロナ禍ではございますが、感染対策を行った上で、工事広報館のご案内や「羽連だより」の発行により、地域の皆さまに、工事についてのご理解を深めていただけるよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。



市職員一同

【受注者：五洋・日立造船・不動テトラ・横河・本間・高田共同企業体 総括責任者 森 康範】

皆様あけましておめでとうございます。

日頃から皆様には工事に対するご理解・ご協力を頂き有難うございます。

JVの総括責任者を担当している森でございます。

平成29年6月に工事を受注してから約3年半が経過し、川崎側と東京側を結ぶ3径間の橋梁（箱桁）がまもなくつながる状況となりました。今後も、河川内の工事、国道409号線および市道殿町39号線の道路整備工事等を行って行く予定です。早期供用に向けて、安全第一にJV職員一同頑張っておりますので、本年も引き続きよろしくお願いいたします。



五洋JV 森 康範

【多摩川河口干潟の生き物⑫(アサクサノリ)】

2004年2月に多摩川河口干潟において東京湾では絶滅したと考えられていたアサクサノリが発見されました。アサクサノリは東京湾で始まった海苔養殖の対象種であり、現在は環境省RDBにおいて絶滅危惧Ⅰ類に指定されている希少種です。夏季の間は非常に小さな「胞子」の形状でカキ殻などに着生し、冬季になると葉状体がヨシの根元に付着して生長します。工事区域周辺でも環境調査の結果、アサクサノリが確認されました。アサクサノリの分布状況について調査を行ってまいりましたが、東京側では確認できず、川崎側だけ分布していました。カキ殻、ヨシ原が存在することがアサクサノリにとって重要なことなのだ改めて実感しました。




アサクサノリ



アサクサノリの葉状体
(葉状体採集→乾燥→海苔)

お問合せ先

 川崎市建設緑政局広域道路整備室
羽田連絡道路建設事務所
川崎市 所在地：〒210-0821
川崎市川崎区殿町3-25-25
電話：044(200)0436
FAX：044(288)1782
<http://www.city.kawasaki.jp/530/page/0000097966.html>



五洋・日立造船・不動テトラ・横河・
本間・高田共同企業体（五洋JV）
所在地：〒210-0821
川崎市川崎区殿町3-25-24
電話：044(201)9381
FAX：044(201)9382
<http://www.poc-site.jp/kb/tonomachi/>